



帯広の森幼稚園
園長だより

春風化雨

帯広葵学園

令和3年度 令和3年4月22日発行 No.2 園長:佐藤敬示

対 面 式

新年度が始まり2週間。新入園の子ども達は園の生活にも慣れ、たくさん笑顔が見られるようになりました。また、進級した子ども達も成長した姿が見られ、お兄さんお姉さんになった自覚が生活の中に現れつつあります。

そうした中、20日(火)に対面式が行われました。



一歳大きくなった先輩。可愛くて小さい後輩がいてその先輩です。ですから歳下の子に優しく教えてあげていくことで、自覚も生まれ、相手意識も育っていくはず。これからの成長がとても楽しみにする会でした。



第一部は『もり組』さんと『ひよこりす』の年少さんとの対面。そして第二部は『すら組』さんと『いちご・すずらん』の年中さんとの対面。できる限り密にならないよう配慮しての二部構成の対面式となりました。



園長からのお願い



送迎の際、バス停でも幼稚園前でも、お子さんの「手をつないで」

いてください。事故は、手や目を離れたほんの一瞬の油断で起きます。

子ども達はお家の人の顔を見た途端、嬉しさと安心感で、思わず飛び跳ねたり駆け出してしまうものです。

ですから「必ず手をつないで」いてください。今の時期は「自転車」との接触事故も多いようです。また、歩行者事故は自宅から約500m以内での発生が多いというデータも出ています。とにかくにも路上では「手と目を離さない」が鉄則です。よろしくお願いします。

子どもを育てる上で大切な十か条

元プロテニスプレーヤー杉山愛さんのお母さまが、自分自身の子育て経験とアスリート育ての経験をもとに、子どもを育てる上で大切にしたいことを『子どもの可能性を伸ばす十か条』としてお話しています。一部引用してご紹介します。

子どもを育てる上で大切な十か条

杉山美沙子(一般社団法人次世代SMILE協会代表理事)

1. お互いを尊重し合うこと
2. 求められていることの大切さ
3. 「気づくこと」の大切さ
4. 「目標をもって続けること」の大切さ
5. 「正しい答え」は、一つではないことの大切さ
6. 「絶対評価」であることの大切さ
7. 何でも「楽しく」してしまうことの大切さ
8. 「励ます」ことの大切さ
9. 「ほめる」ことの大切さ
10. 「待つ、そして学び続ける」ことの大切さ

以上ですが、一番のベースは、子どもは社会からの預かりものであり、社会に役立つ一人の人間として成長するまで親が子どもに寄り添いながら、一緒に育つことがミッションだと思っています。

特に大事にしているのは、**「感謝すること」**と**「楽しむこと」**です。何かあればそこに戻れば良いと考えていますので、あまり迷うことはありませんでした。

感謝については、ただ心の中で思っているだけではなく、相手に伝えることも大切にしています。楽しむことについて大事にしていることは、楽しいことだけやるのではなく、「やることを楽しむ」ことをとても大切にしています。例え、辛いことや嫌なことがあっても、どうしたらそれを楽しむことができるかを考えることを大事にしています。

例えば、たくさんの家事の中で、私は料理を作ることも最後の片付けも楽しむことができます。しかし、どうも外の庭掃除があまり好きではないのですが、これを楽しむために音楽をかけたり、落ち葉を集めて焼き芋を作ることなどを想像したり、鼻歌を歌いながらやっていました。すると、愛や妹の舞が「私たちもやる!!」と言って手伝いに来てやってくれます。現実にはそんなに楽しくないと思うのですが、子どもたちも結構楽しんでいる!!ということは常にありました。今では、家族全員に身に付いている特技になっています。

こうした日常生活の中で起こる様々な経験・体験を通じて十か条を子育てのツールとして一つでも活用しながら、ありのままの自分でいられることが自分を楽にし、楽しい子育ての極意につながり、さらにこの優しい気持ちと余裕が子どもたちの可能性に気づき、引き出し、伸ばしていくことに繋がるのではないかと思います。

「感謝すること」と「楽しむこと」。日々の子育てのヒントにしていきたいですね。